

すすめよう！男女共同参画

問合せ 役場企画課企画調整係(内線213)

●シールアンケート調査の結果について

令和元年6月21日(金)から7月12日(金)まで、音更町図書館本館と帯広大谷短期大学附属図書館に設置した「男女共同参画コーナー」、そして帯広大谷短期大学がプロスバ6で行ったブックリユースカフェで男女共同参画社会についてのシールアンケート調査を実施しました。主な結果をお知らせします。

なお、シールアンケートとは、調査票の該当項目にシールを貼って投票するアンケートのことです。

◆男女共同参画に関係することばの認知について

男女共同参画に関係することばの認知度は、別表1のとおりです。SOGI(ソジ)を知っている人は昨年1人もいませんでしたが、今年は7人が知っていました。なお、SOGIとは、セクシャルオリエンテーション(SO:性的指向)と、ジェンダーアイデンティティー(GI:性自認)を合わせたことばです。

◆ジェンダー認知について

別表2はジェンダー(社会的・文化的につくられる性別)認知に関する質問です。サンプル数の少ない2年間だけの調査結果ですが、いずれの設問でも方向性としては男女共同参画社会へ向けたジェンダー認知の変化が進んでいると期待できる結果でした。

別表1 男女共同参画に関係する「ことば」の認知度

順位	知っている「ことば」	投票数
1(1)	セクハラ	52(27)
2(2)	DV	52(26)
3(-)	働き方改革	48(-)
4(4)	男女共同参画社会	45(13)
5(5)	ジェンダー	44(11)
6(5)	ワーク・ライフ・バランス	42(11)
7(7)	LGBT	39(10)
8(-)	女性活躍推進(法)	16(-)
9(-)	SDGs(エスディーズ)	10(-)
10(8)	SOGI(ソジ)	7(0)

※順位、投票数の()内は、平成30年度の結果。

※順位、投票数の(-)は、平成30年度未設定。

別表2 ジェンダー認知の変化

	そう思う	そう 思わない	どちら でもない	合計
「男性」は「仕事を する」「女性」は「家庭を 守る」べきだ	13.0%	26.1%	60.9%	23
	1.7%	78.0%	20.3%	59
「男なのに」「女なの に」「男の子だから」 「女の子だから」とい う言葉をよく使う	43.5%	43.5%	13.0%	23
	8.3%	55.0%	36.7%	60
「男性」は「女性」を 「女性」は「男性」を好 きになるのが当たり 前だ	40.9%	45.5%	13.6%	22
	5.3%	63.2%	31.6%	57

※各設問の上段は平成30年度結果。下段が令和元年度結果。

今年は、音更高校図書館の生徒と帯広大谷短期大学地域教養学科の学生に絵本の選書と紹介POPを作成していただいたこともあり、貸出冊数が倍以上になりました。

なお、図書の貸出状況やアンケート結果の詳細は、町ホームページに掲載しています。